広田中 3・22文責高橋正伸 第19号(最終号) 学校だより

▼自転車に乗るときはヘルメットを うがいを忘れずに!

| ★4月9日 (火) | ★4月8日 (月)

火月 令和6年度入学式

★令和5年度卒業式~感動をありがとう!~

が出来ました。心よりお礼申し上げます。 様の御臨席をいただき、卒業証書授与式を無事に済ませること 3月4日(木)、地域の皆様をはじめ御来賓の皆様、保護者の皆

顔の中にも晴れやかなものがありました。また大変凛々しく、心 身ともに成長した姿をしっかりと披露してくれました。 卒業証書を受け取る147名の生徒たちの表情は、 緊張した

からさまざまな出来事が待ち受けていることでしょう。それで 期待しています。 本の将来を支えるりっぱな社会人になるよう成長してほしいと 卒業生の皆さんはこれから次のステージに進みますが、これ 自分の信念や夢、 志をしっかりともって乗り越えながら、日



感 謝

そして児童生徒にとっても、一抹の寂し となりました。宿命とはいえ、やはり「そ な状態ですが、この度、私を含む約20 り出して心にぽっかり穴があいたよう さがあるものです。 の時」を迎えると、送る方・送られる方、 名の教職員並びに関係職員が退職、異動 ■三月は別れの月です。 先に卒業生を送

者 たく、思い出に残る貴重なものです。大 や感動、そして児童生徒をはじめ保護 変ありがとうございました。 広田の地で過ごすことができた喜び 地域の皆様との出会いは大変ありが

ました。 の教職生活に節目を迎えることとなり ■私ことながら、今年度をもって37年間

⑩

史が出来そうな感じがしてきます。 平戸等での教師生活に加えて、県教委、 忘れられない思い出があり、分厚い自分 ただきました。それぞれの学校や職場に 院派遣等、さまざまなお仕事をさせてい が始まりました。その後、佐世保・松浦 市教委等、行政生活12年、兵庫県の大学 東彼杵郡の川棚中学校にて教師生活 人との出会いを生きる力にという志

をもって教職に就きました。

冥利に尽きる貴重な時間でした。なによ つが私にとっては生きる力となり、教師 りました。広田中学校在任中の5年間に 財産です。 はこの上ない幸せなことでした。大切な り素晴らしい児童生徒たちとの出会い はいろんなことがありましたが、一つ一 そして最後の勤務校が広田中学校とな

うさみどりに 心優しき風わたる」 げます。有り難うございました。 小・中一貫型学校として、ますます輝 き、発展していくことを願っています したすべての方々に心から感謝申 これまで御支援・御協力いただきま これからも広田小中学校が「白鷺憩



「帰宅後、30分の取組!!」 くという大切な習慣づくり~

解 プロジェクト